

2016年(平成28年)12月26日(月) NO 105号

# K-PURO NEWS

## 【事業所】

◆	社名	株式会社 ケイプロ	<a href="http://www.k-puro.co.jp">http://www.k-puro.co.jp</a>
◆	商号	都市防犯プランニング社	mail info@k-puro.co.jp
◆	本社	埼玉県蕨市中央 1-7-1 シティタワー蕨	TEL 048-446-9445
◆	千葉支店	千葉県千葉市中央区新町 1-20 江澤ビル	TEL 043-243-6110

## 【業務内容】



機械警備事業	弊社独自のセキュリティプランニングに SECOM・ALSOK・CSP のインフラを使用
防犯カメラ事業	周辺環境・建物構造・人的要因・犯罪データを分析し有効かつ適正な位置へ設置
メンテナンス事業	消防設備点検・工事から AED 幹旋に至るまでのメンテナンス業務の取扱い

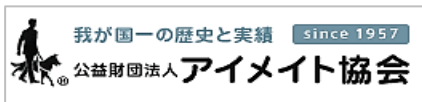


## 【加盟団体】



RID2770	川口モーニングロータリークラブ	<a href="http://www.h3.dion.ne.jp/~mrc/">http://www.h3.dion.ne.jp/~mrc/</a>
NPO 法人	さいたま起業家協議会	<a href="http://www.saitama-kk.org/">http://www.saitama-kk.org/</a>
公益社団法人	千葉東法人会	<a href="http://www.chibahojin.jp/">http://www.chibahojin.jp/</a>
一般社団法人	千葉市中央区倫理法人会	<a href="http://www.rinri-chiba.org/">http://www.rinri-chiba.org/</a>
公益財団法人	モラロジー研究所	<a href="http://www.moralogy.jp/">http://www.moralogy.jp/</a>

## 【応援団体・企業】



# ごあいさつ



現状に不満があるとき、「あの人のせいで」といった考えを持ってしま  
うことはないでしょうか。

そのときの心を見つめてみると、自分以外の人々の考え方や態度が  
変わることを期待しているようです。

人生に起こる悪いことは他人のせいにして、よいことも他からもたらされるのを待っている。

しかし喜びも悲しみも、多くは自分自身がその原因をつくっているのです。

「みずからの考え方と行動が今の自分をつくっている」という自覚を持ち、積極的に喜びをつくり出し  
ていきたいものです。

代表取締役 木戸 良樹

## 今月の良い話 「幸せはどこにあるのか」

勉強会に参加した女性のお話を紹介しましょう。

この女性には、生まれつき知的障害のあるお子さんがいます。

その子が生まれたばかりの頃、親戚から

「うちにはそのような血統はないのだから、あなたの家系にあるんでしょ」とか、

「妊娠中のあなたの生活が悪かったのよ」とか、多くの辛い言葉を浴びせられたようです。

この女性の唯一の願いは、男の子が少しでも一人前に近づき、税金を納められるだけの力をつけて自立してくれることにありました。

周囲の冷ややかな視線や言葉に押し潰されそうになりながらも、彼女は息子さんの成長のために力を尽くしました。

いい医者があると聞けば、どんなに遠くても連れて行き、勉強も教えました。

しかし、いくら頑張ってみても、目に見えるだけの効果はなかなか表れませんでした。

努力して治療や教育を続ければ必ず幸せへの道は開けてくる、

そのためには何としてもこの子を変えなくては、という一念だったそうです。

息子さんが14、5歳になった頃のことです。

その日も、彼女は息子さんを病院に連れて行っていました。

名医がいるとの噂を聞き、遠くにまで足を運んだのです。

しかし、一縷の希望を託して診察を受けてみたものの、

やはり結果は同じでした。

治療費ばかりが膨らむ一方で、全く効果が見えない現実に落胆し、

精神的、肉体的にもどん底の状態でした。

重い足取りで家路につき、玄関のドアを開け、畳の上にへたへたと

座り込んだ時のことです。

息子さんが「お母さん」と声を掛け、ニコッと笑いながらコップ一杯の水を差し出してくれたのです。

彼女が目を覚まされたのはこの瞬間でした。

「自分は今まで何をやってきたのだろう。この子さえ変わってくれたら幸せになれると思っていたのに、幸せはいま、ここにすでにあったとは……」

息子さんの純粋な笑顔と行為をとおして、そう強く気づかされたといいます。

落ち込んでいた自分にコップ一杯の水で優しく勇気づけてくれる息子がいつも傍にいてくれる。

それまで全く気づかなかった幸せを初めてしみじみと味わったというのです。

この気づきは彼女を大きく変えました。

それまで気になって仕方がなかった親戚や周囲の言葉や目線も冷静に受け止められるようになり、息子さんをとおして自分自身が大きく成長してきた喜びも実感できるようになりました。

それにも増して、息子さんが生きていてくれることへの感謝の思いが込み上げてきたそうです。

「遠くにある幸せを求めては挫折して落ち込み、また追い求めては悲しみに涙する。そのことを何度繰り返してきたことでしょう…。しかし、誰もが考えられないほどの多くの涙を流さなかったら、

我が子のありのままの生き方を受け入れることはできませんでした。いま私があるのは、あの子のおかげです。あの子の親であることに心からの幸せを感じます。」

国際コミュニオン学会名誉会長 鈴木 秀子

月刊到知 2017年1月号掲載

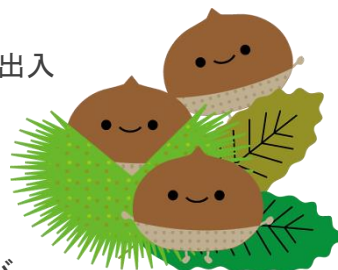


## 今月の良い話 「利は元にあります」

例年、いくつかの大手小売業が、独占禁止法違反の疑いで、公正取引委員会の立ち入り検査を受けます。

このように優先的な立場にある企業が仕入先に対して不当な圧力をかけるという事件は、過去にも幾度となく発生し、こうした例は枚挙に暇がありません。

廣池千九郎は、「自分の会社の大きな勢力を背景にして、あるいは出入りの商工業者を苦しめておるとき行為、あるいは傲慢たる態度をもって顧客に接客しておるとき行為、すなわち換言すれば外部の力を借りて自己の名誉もしくは利益を獲得し自己の力以上に自己を発展させんとする行為は、一見してその罪小なるごとくに思われるけど、その結果は甚だ恐るべきもの」と述べ、自社の大きなバ



イイングパワー(購買力)を背景にした“業者いじめ”や“仕入先叩き”を厳しく諫めています。たとえ仕入先に対して、“いじめる”という行為に及ばないにしても、私たちはどうしても「買ってあげている」「自分たちはお客様だ」という立場から仕入先を見てしまうため、多くの場合、お客様ほどには仕入先を大切にしていない、というのが現状ではないでしょうか。

「いつも買ってやっているんだから言うことを聞け」「言うとおりにしないと取引停止だ」など傲慢な態度を取れば、いくら多くの製品を購入したとしても、相手には不信や不満が募るだけでしょう。よくあることですが、安く買い叩いたつもりでも、仕入先も利益を確保しなければなりませんから、他の商品などで知らず知らずに値上げをして帳尻を合わせてくるかもしれません。

また、「あの会社はどうせ買い叩くのだから最初から高めに価格を設定しておこう」「見えないところで商品の品質を下げよう」ということにもなりかねません。

そうなれば顧客に対して良質な製品を安定的に、適正な価格で販売することができませんから、まず日ごろから仕入先を大切に、良好な信頼関係を築いていくことが重要だといえるでしょう。

「利は元にあります」という言葉について、パナソニックの創業者・松下幸之助は次のように述べています。「昔から『利は元にあります』という言葉があります。これは利益は上手な仕入れから生まれてくるといふことだと思ふます。まず良い商品を仕入れる。しかもできるだけ有利に適正な値で買う。そこから利益が生まれてくる。(中略)ところがこの『利は元にあります』ということ、ともすれば単に安く買い叩けばよいというように解釈する人があるようです。しかし決してそうではなく、仕入先を品物を買ってくださるお客様と同じように大切にすることが肝要だと思ふます。そういう気持ちがないと、結局は商売は繁盛しない」。このように、仕入先をお客様と同じように大切にすることが良い商売を行う秘訣といえるのです。

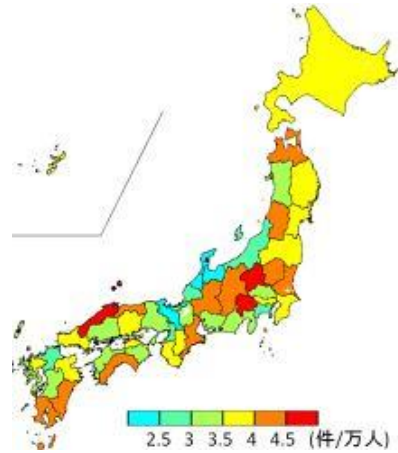
岐阜県のある和菓子店は、それまで同業者が目を付けなかった地元産の栗に着目し、それを使った地域限定・期間限定の「栗きんとん」を年間四億円を売り上げるヒット商品に育て上げました。しかも仕入農家からは、市場価格の二倍の価格で栗を買い取り、それが農家のやる気にもつながり、さらに良質な栗が採れるという好循環にもつながっています。

この事例のように、仕入先を大切にすることは自社を利する結果となり、それがお客様を利することになるわけですから、やはり顧客満足(CS)の実現のためには、まず仕入先を大切にすることが肝要なのです。

モラロジービジネスクラブ 学習資料 NO4

## 事件ファイル NO105 全国出火率ランキング

全国の火災の件数をみると、やはり東京都が最も多くなっています。しかし、出火率でみると1位ではありません。毎年発表される消防白書にランキングが載っていますが、2014年の火災をみると、東京都は18位となっています。では、どこの県が上位にあるのでしょうか。



右の図は、2014年の都道府県別の出火率を示したものです。人口1万人当たりの出火件数となっており、全国平均は3.4件です。ワースト1位は山梨県の5.1件、2位は群馬県の4.7件となっています。

最下位、つまり火災が最も少ない県は富山県で、2.0件となっています。

富山県は、1991年以来連続して最も出火率が低くなっています。ちなみに、山梨県は4年連続の1位です。

また、図にはなっていませんが、単位人口当たりの死者数をみると、ワースト1位は秋田県で、次いで鹿児島県、高知県と続き、最も少ないのは神奈川県となっています。それに次ぐ46位が東京都です。

建物火災の原因は、放火、こんろ、たばこが上位を占めています。しかし思わぬ要因として、コンセントや電灯線などの配線器具、電気装置などがあります。接触不良やほこりが原因となる場合もありますので、定期的にチェックしてみることをお勧めします。

また、初期消火が重要です。消火器は必ず用意しておきましょう。

## プロ太の小話集 NO105 『濁り水』

お客 「ちょっとウェイター、この水濁ってるぞ！」

ウェイター 「水は大丈夫です、お客さん。汚れてるのはコップの方ですから・・・」

今月のK-PURO ニュースいかがでしたか？

今月22日に新潟県糸魚川の小さな中華料理店から発生した火災は、

空気乾燥と猛烈な強風により、瞬間に延焼し辺りを焼き尽くしてしまいました。

被害に遭われた方々には心からお悔やみを申し上げます。

泥棒の被害は金品や物で済みますが、火災は思い出も含め全てのものを奪ってしまいます。

火災の恐ろしさを改めて感じます。皆さま、くれぐれも火の用心を心がけ良い年をお迎え下さい。

今年一年誠にありがとうございました。またお会いしましょう。

注:プロ太とは、写真のK-PURO番犬です (体長10メートル・体重1トン・無敵無敗)

